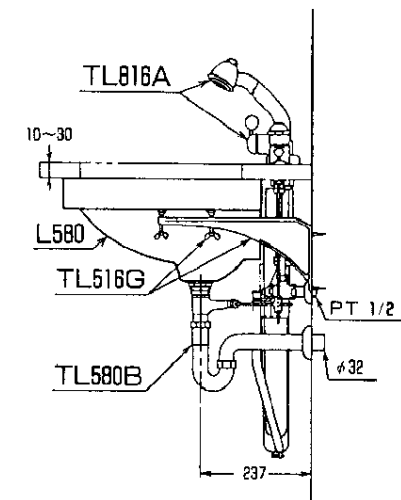
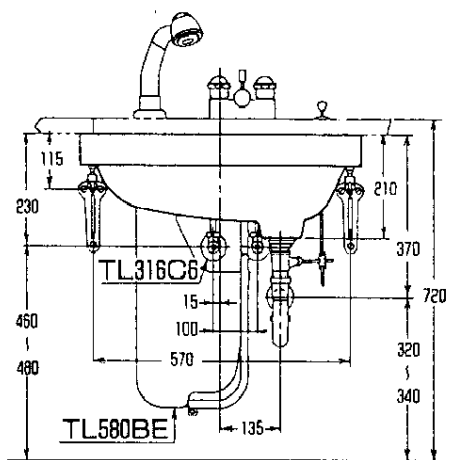
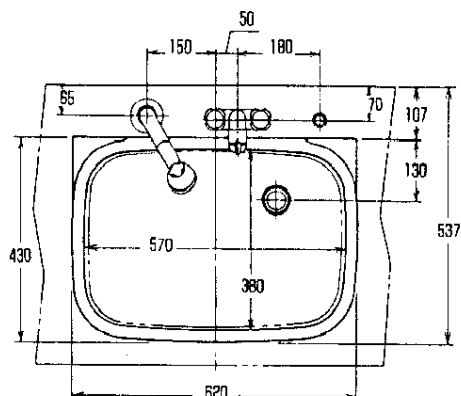


# TOTO

## 洗面器用先髪機能付湯水混合栓施工説明書

製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。

### 完成図



\*品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

# 使用条件

## 1. 使用水圧

### (1) ガス瞬間湯沸器と組み合わせる場合

給水圧力 { 最低必要水圧……(下表参照)  
最高水圧………0.75 MPa

器具入口部における最低必要水圧 (MPa)

湯沸器タイプと号数		最低必要水圧
従来タイプ	8号	A+0.07
	10号	A+0.11
	12号	A+0.15
比例制御タイプ	13号	0.08
	16号	
	16号	0.065
	20号	
	32号	

注) TOTOカスタムシリーズで、湯沸器の温度を60°Cにした場合、表中の数値より0.02 MPa多く必要になります。

表中のAは湯沸器の最低作動水圧を示します。

(比例制御タイプにはこの数値が含まれています。)

〈設定条件〉

- 止水ハンドルは全開
- 湯沸器温度調節は最高温度に設定
- 夏期水温：25°C
- 冬期水温：5°C
- シャワー吐水温度：42°C
- 給湯配管長さ：5m

### a) 従来タイプの場合

- 湯沸器が着火する下限の圧力とする。
- 季節は水温の高い夏期とする。

### b) 比例制御タイプの場合

- 7ℓ/分の吐水流量を確保するのに必要な圧力とする。
- 季節は水温の低い冬期とする。

### (2) 貯湯式温水器と組み合わせる場合

給水・給湯圧力 { 最低必要圧力…0.05 MPa  
最高圧力………0.75 MPa

(3) 給水・給湯圧力はできるだけ同圧になるようにしてください。

2. 給湯に蒸気を使用しないでください。

3. 湯・水を逆配管しないでください。

なお給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。

4. 取付後の保守点検ができるように必ず止水栓を設けてください。

## 器具の取付け

### 1. 給水管内の清掃

器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

### 2. 本体の仮固定

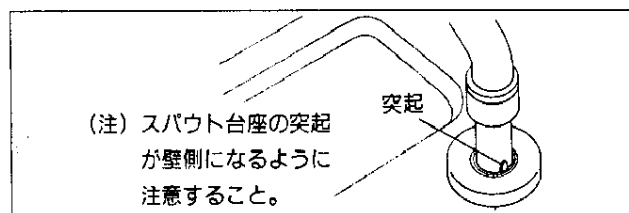
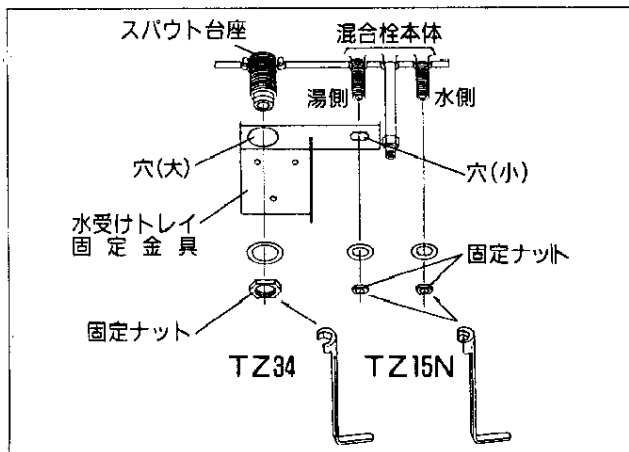
(1) 本体水側(右側)の脚の固定ナットを軽く仮締めしてください。

(2) 水受けトレイの固定金具の穴(小)を湯側の脚に通し固定ナットで仮固定してください。

(このとき、固定金具のもう一方の穴(大)をカウンターの) スパウト取付穴に合わせておきます。

### 3. スパウトの取付け

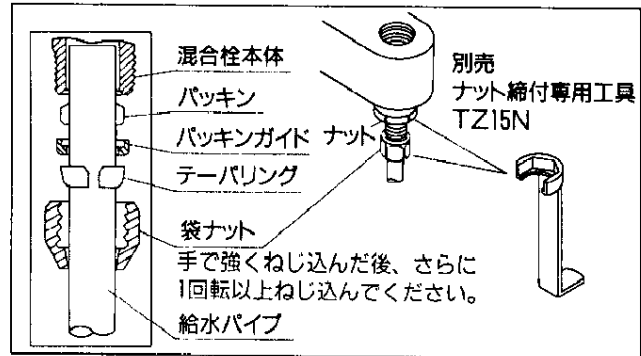
スパウトの台座をカウンター穴に通し、水受けトレイ固定金具をはさみ込んだ状態で、別売のナット締付専用工具(TZ34)で確実に固定してください。



### 4. 本体の固定

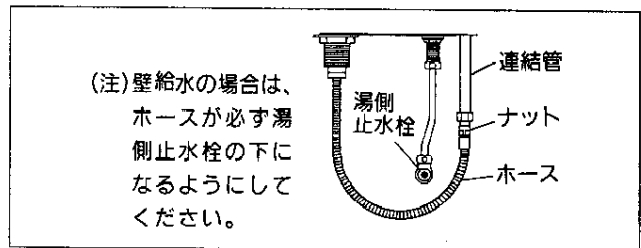
2で仮固定した混合栓本体を、別売りのナット締付専用工具(TZ15N)で確実に固定してください。

※差込み給水・給湯パイプに袋ナットを入れ、テーパリング、パッキンガイド、パッキンの順番・向きをまちがえないように接続してください。

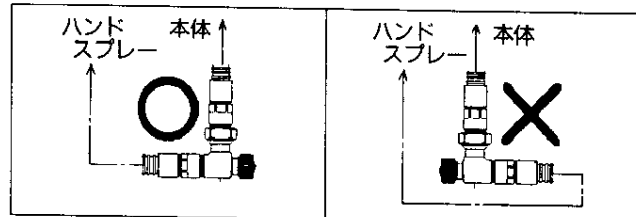


### 5. ホースの取付け(※止水栓取付け前に行ってください。)

ホースをスパウトの口から通し、本体中央の連結管にナットを確実に締付けてください。



寒冷地用の場合は、ホースの水抜コックの取付け方向に注意すること。



## お手入れ

めっきされた器具がいつまでも美しさを保つように、お客様に次のお手入れ方法をご指導ください。

- 普段からこまめに柔らかな布でふき、ときどきミシン油やカーワックスなどをしみこませた布でみがくこと。  
ただし、樹脂部(ハンドル・ハンドスプレーなど)に付着すると光沢を失うので、付着しないよう十分注意すること。
- クレンザーやみがき粉など粗い粒子を含む洗剤やナイロンたわしなどは使用しないこと。
- 酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないこと。  
もし、タイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイル及び器具を十分水洗いすること。

## 寒冷地用の水抜方法

寒冷地用の場合は器具内の水を抜くため、水抜コックを設けております。凍結のおそれのある時期に施工された場合は、水抜栓の操作とあわせて次の要領で水抜きをしておいてください。またお客様にも水抜方法をご指導ください。

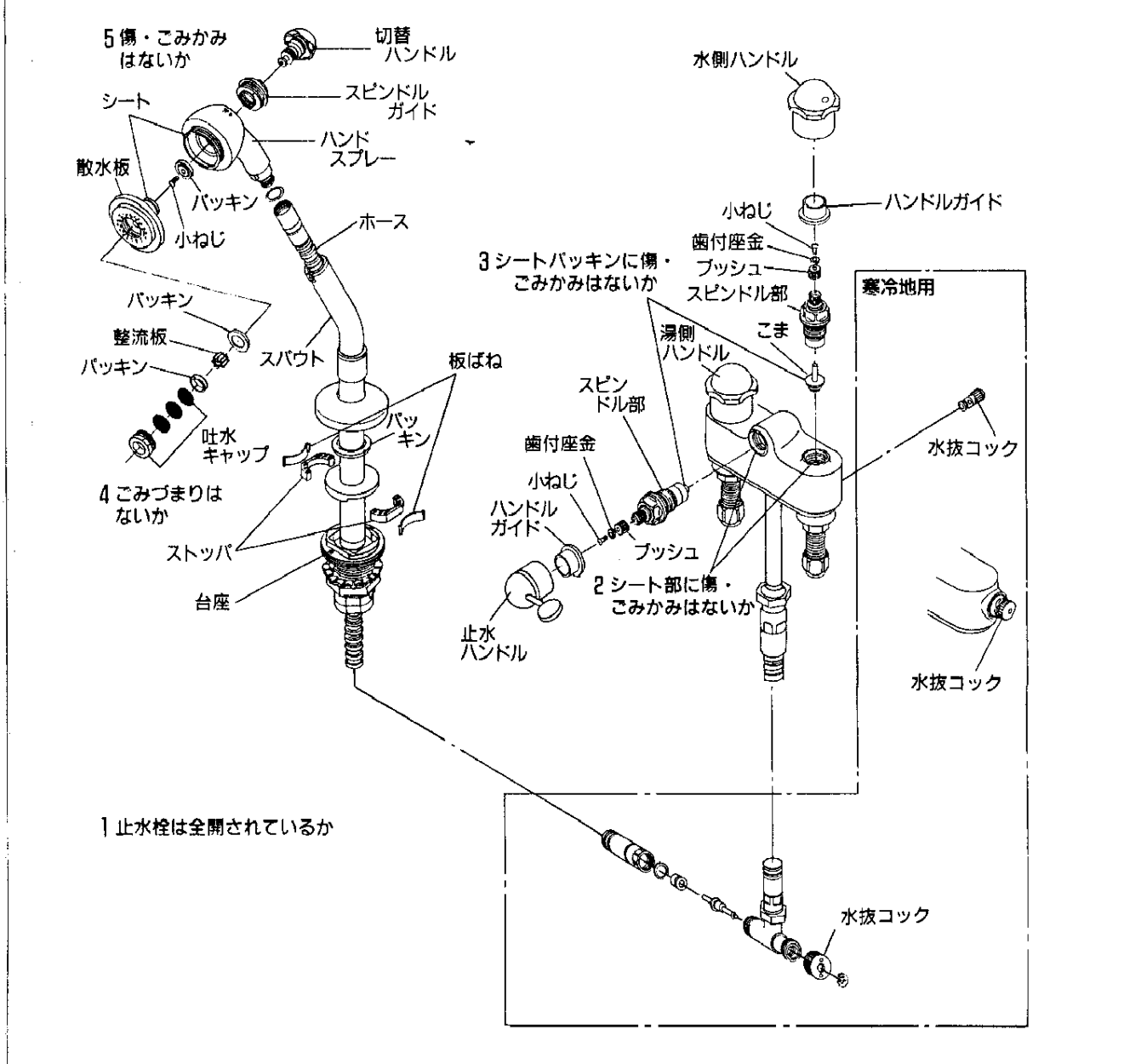
(水抜手順)

- (1) 止水ハンドルを全開にする。
- (2) 本体の水抜コック3ヶ所を開く。
- (3) 湯・水側ハンドルを全開にする。
- (4) ホース途中の水抜コックを開く。
- (5) スパウトを上引き上げ、ホース内の水を抜き、さらにハンドスプレーを振って中の水を抜く。

# 分解と点検

取付後万一故障などで分解するときは、次の要領で行ってください。

故障とその点検箇所	
吐水流量が少ない	1・4
水が止まらない	2・3
吐水温度不良	1・4
切替不良	5



※同梱の取扱説明書は、お客様にお渡しください。

手渡しできない場合は、工事完了後ハンドルなどに吊り下げておいてください。